

好奇心・探究心を最大限に引き出すLbEの事前学習

修学旅行や研修旅行をはじめとする**校外研修**や、**総合的な探究の時間**における**学びを最大化**

事前学習で目指すゴール

- 世界中から集まる「人」を通じて、多様な「世界の今」に触れる
- 社会課題を「自分ゴト化」する
- 自ら課題を見つけ、目標を定める

Learn by Experience

LbEのプログラムが提供する学び



多様性
協働性



課題探究



英語



グローバル
マインド



導入目的事例

- 国内、海外研修の事前学習に
- 教科学習の一環として
- 修学旅行、研修旅行の一部として
- 地域学習を異なる視点で
- 人を通じたりサーチの場面に
- プレゼンテーションの検証に

「非日常」である旅先や研修での気づきをより確かなものにするために必要な視点や心構えを学び、研修の目的を明確にします。

「世界」をより身近に。留学生という「人」を通じて見つめる世界

行動力と思いにあふれる留学生たちが、参加者との協働を通じて互いに学び合い、身近なロールモデルとして参加者の学びをサポートします。多様な文化背景を持つ留学生の人間力が、英語スキルだけでない学びの質を高めます。

全国に広がる留学生のネットワーク



LbE Japan のミッションに賛同し、プログラムを主体的に運営する留学生（リーダー）たちが集うコミュニティ**Global Education Project(GEP)**には、現在、**101カ国、907名**の留学生（リーダー）が所属しています。

実施形態

お気軽にご相談ください。



通年実施可



10～300名



1時間～3日間



学校など

経験をチカラに。成長につながる学び

国内フィールドワーク（班別自主研修）の校内事前学習の場合 活動スケジュール例

時間	活動	内容	単位
15分	オリエンテーション	プログラムの目的説明と研修のルール説明 留学生リーダーの紹介、出身国当てクイズ	全体
30分	留学生リーダーによる プレゼンテーション (15分X2回)	留学生リーダーによるプレゼンテーション&質疑応答 トピック1：世界探検（母国の文化や生活） トピック2：留学生の母国語講座	班別
40分	生徒による プレゼンテーション (20分X2回)	事前に下調べした現地訪問先の特徴について留学生リーダーに説明し、 なぜその訪問先を選んだのか(理由)についても説明しよう Step1：グループで協力して順番に発表しよう（質疑応答あり） Step2：留学生リーダーからフィードバックとアドバイス Step3：留学生リーダーのアドバイスをもとに次の発表に向けて改善を しよう	班別
15分	振り返り	留学生リーダーとの活動を通してあなたが感じたことは？ 以下2点について、グループのメンバーと共有しよう！ ・「コミュニケーションにおいて一番大切なこと」 ・「現地で知りたいこと、話してみたいこと」	班別
10分	まとめ	留学生リーダーからのメッセージ	全体

目的：

文化の多様性を認識し、英語コミュニケーションを体験する。
(慣れ親しむ)

ゴール：

- ・ フィールドワークでの学びをより確かなものにするために、行程や目的などを英語で説明できるようになる。
- ・ 文化や習慣、教育や社会生活、考え方などを他国と比較し、日本への理解も深める。

生徒事前準備：

修学旅行先での活動を担当する留学生リーダーに、グループの行程が説明できるように準備・練習を行う。

ワークブック：

留学生リーダーと参加者は、思考の整理・気づき・活動の振り返りをサポートするオリジナルワークブックを使用。
(日英併記)

ご要望に合わせて研修を充実させる様々な活動のご提案をいたします。

体験者の声

ヒアリング

活動設計

ワークシート作成

実施

- ・ 日本人だと説明しなくてもわかることも、伝えないとわからないのだと気付いた。
- ・ 留学生リーダーの話聞いて、行く前に現地のことをもっと調べてみたくなった。
- ・ 知らないことを知って、面白い！
- ・ 世界共通語。英語さえできるようになれば、色々な人と交流できるとわかった。



好奇心・探究心を最大限に引き出すLbEの事前学習

経験をチカラに。成長につながる学び

平和をテーマとした修学旅行の事前学習の場合

活動スケジュール例

時間	活動	内容	単位
15分	オリエンテーション	プログラムの目的説明と研修のルール説明 留学生リーダーの紹介、出身国当てクイズ	全体
60分	留学生リーダーによるプレゼンテーション (30分×2回)	留学生リーダーによるプレゼンテーション&質疑応答 トピック1: 『世界探検 (母国の文化や生活、社会問題について)』 トピック2: 『私にとっての幸せ』 SDGsに関連する母国の社会問題から、留学生自身が考える『幸せ』や『平和』について紹介 留学生リーダーにとって「幸せ」とは何を意味するのか聞いてみよう 母国が抱える社会問題から平和を定義するものについて考える	
10分	振り返り	留学生リーダーとの活動を通してあなたが感じたことは？ 以下3点について、グループのメンバーと共有しよう！ ・「コミュニケーションにおいて一番大切なこと」 ・「現地で知りたいこと、話してみたいこと」 ・「現地の方や訪問者 (外国人観光客など) に聞いてみたいこと」	
	プログラム終了	お疲れ様でした！	

目的:

- ・ 留学生の母国が抱える社会問題から、平和の意味の多様性について理解する。
- ・ 英語コミュニケーションを体験する (慣れ親しむ)

ゴール:

留学生の母国が抱える社会問題を題材に、その原因や影響の広がりを考える。

生徒事前準備:

研修旅行先で生徒自身が考える『幸せ』・『平和』について、現地の方や訪問者 (外国人観光客など) に伝えたり、質問ができるように準備する。

ワークブック:

留学生リーダーと参加者は、思考の整理・気づき・活動の振り返りをサポートするオリジナルワークブックを使用。
(日英併記)

ご要望に合わせて研修を充実させる様々な活動のご提案をいたします。

体験者の声

ヒアリング

活動設計

ワークシート作成

実施

- ・ ニュースなどで報道されている戦争や事件のことを、他人事ではなく自分ごとで考えたい。
- ・ 今の日本がどれだけ平和かを改めて感じる事ができ、平和への思いが一層強くなった。
- ・ 知らないことを知って、面白い！
- ・ 世界共通語。英語さえできるようになれば、色々な人と交流できるとわかった。

